

「高校生と大学生の夢を語ろう！」

村田愛子 ファッションショー

7月1日(土)地域に開かれた大学」を目指し本学で初めてファッションショーを開催しました。
披露したのは、本学講師のデザイナー村田愛子先生で、「高校生・大学生の夢を語ろう」をテーマに、モデルには本学の学生10名と地元高校生8名の計18名が出演。
寝間着を兼ねるホームドレスを皮切りに旅行用のパンツスーツ、おしゃれコートなど、色、デザイン共に華やかな約

30点が村田愛子先生のトークに乗せて紹介されました。
中でも、オレンジ色など鮮やかな配色のウェディングドレスには、観客も夢心地でうっとり。蒸し暑さもものともせず、堂々と着こなしたモデルの頑張り、村田先生は「自分が好きで選んだ道でも大変さは付き物。励まし合える友人をつくり、ぜひ夢をかなえて下さい」と話されました。



家庭教育講演会

講師 教育アドバイザー 小山田 勢津子 先生

花巻・北上の両市民を対象に、去る6月8日、8月29日の2回にわたり、本学6号館を会場に家庭教育講演会を開催しました。
講師は、東京あきる野市教育委員で教育アドバイザーの小山田勢津子先生。先生は、本学学長の奥様であり、日頃の教育相談での体験などで大学のお役にたてればと、引き受けて頂きました。
第1回目は、「いい子を育てるために」と題し、生きる力を育てるために、「体内リズムの確立」「食生活の安定」などについて話されました。
そしてなにより「家族が温かい関心を持ち合うこと」「誉めると叱るのバランスをもつコ

ミュニケーション」が大切であることを指摘されました。小さな子どもを持つお母さんから真剣な質問がされたり、地域の教育指導をされている方からの質問もあり、熱心さがうかがわれました。
第2回目は、「受験エリートより本物のエリート」と題し、「社会が求める人材と能力」それを養う家庭での親子のあり方について、「過剰期待と過密スケジュールでは、良い子ほど息切れしてしまう」事例をもちいて、家族が互いに関心をもちながら、「話を聞き、学ぶ姿勢をもって、助け合う力と、失敗から学びやり直す勇気をもてるよう」生涯学習のなかで、「回り道の必

要性と楽しさを話されました。どちらも60名ほどが聴講され、盛会でした。
今後も、本学は、「地域に

開かれた大学」として、そのもつ教育機能を地域に還元していくよう努めてまいります。



Soccer World Cup ワールドカップ 公認キャンプ地 正式決定

日本と韓国が、2002年に共同開催する「ワールドカップ」の日本組織委員会は、11月22日、公認キャンプ候補地を承認した。その中に、本学の所在する「花巻市」も含まれている。
今後、花巻市では誘致実行委員会を設立し、パンフレットを作成、各国大使館へのPR活動を行うなどし、本格的に海外チームの誘致活動を展開する計画だ。
花巻市のキャンプ地は、メイン練習場を天然芝4面がある「スポーツキャンプ村」とし、又、雨天の場合の練習場として、屋内300m陸上競技トラック・50mプール、人工芝練習場を備える富士大学の「スポーツセンター」を含めたものとして、正式に承認された。
日本組織委員会は、来年6月には公認キャンプ候補地リストを完成させ、ワールドカップ出場32チームがこのリストを参考に、大会前や大会中のベースキャンプ地を決定する。

北上みちのく芸能まつり、花巻まつり

北上芸能まつり

8月7日(月)、北上みちのく芸能まつりに本学が初参加しました。
今回、北上市相去町(株)

佐藤組さんのお誘いを受け実現。学友会を先導とし、卓球部・柔道部ほか、総勢100名の参加者となりました。



北上みちのく芸能まつり

花巻まつり

9月8日(金)から10日の3日間、花巻まつりが開催されました。
本学では、23年前から参

加しており、年に一度の恒例行事となっています。小雨の降りしきる中、樽神輿・提灯神輿の2基を出し、学生約



花巻まつり

100名と教職員は、紫の半天に身を包み、手作りのお守り、うちわを持って市内を練り歩きました。
学生のパワーには圧倒されます。沿道の観客にも、ワッショイワッショイと声をかけ、パレードを盛り上げていました。

平成12年度 紫陵祭を終えて 大変だけど充実感

実行委員会 広報部長 荒井敏隆 (経営法学科1年)

今年の紫陵祭は、私を含めた実行委員にとって初めての取り組みでした。夏休みに数人で、パンフレットを作成しながら企画を考えるという前代未聞なやり方で始めました。

私は、広報部長として学内・学外の広報やスポンサーとの交渉を担当しました。タレントを呼ぶための企画会社との交渉、ステージカーやシ

ャトルバスの手配、また、ガス会社、レンタル会社との直接交渉など重要なポジションだったので、責任が重くのし掛かり、負担に感じたこともありました。しかし、企業との交渉を進めるうちに、新たな企画が生まれたり、景品の無料提供やシャトルバスの無料運転等のバックアップを頂けることになりました。こうした支援を頂いたことに喜びを感



じたとともに、私には、誇れる気持ちも湧いてきました。
ご支援ご協力を頂いた企業をはじめ展示や模擬店を出店してくれたみなさん、また、共に歩んだメンバーに感謝しています。
これからも頑張ります。よろしくお願いします。



OB から一言 頑張っていますOB

早いもので、卒業してから20年が過ぎようとしています。学生時代を振り返ってみるとまさきに思い出すのは「野球」のことです。4年間明けても暮れても野球でした。今思えば、本当に野球を4年間続けてよかったと思います。当時は、一般学生と同じ様に遊びたい、練習が辛くて辞めたいと何度も思いました。もし途中で辞めていたら今の私はなかったと思います。辞めずに4年間続けた甲斐あって全国大会に2度も出場することができ、現在の職場にも、野球をしていたことで入社できました。今私は、会社でも、子供

たちにも自信をもって、学生時代は「野球」をやっていたと胸を張って言えます。
学生の皆さん、何か一つ、社会に出て自信をもって言えることを見つけて下さい。そして、4年間の学生生活を楽しんで下さい。
最後に、富士大学の先輩の皆様、後輩の皆さん、色々な所で会えることを楽しみにしております。



この紙は再生紙を使用しております。

広報委員会よりお知らせ

皆さんのご意見、ご希望をどしどしお寄せ下さい。

連絡先は広報室まで
原 久雄(広報室長) 井手 俊一(広報室課長) 田中 博・小田桐 憲仁・高橋 直樹(広報室)
E-mail kouhou@fuji-u.ac.jp

広報

富士大学

Vol.2

2000.12.10 発行

富士大学 経済学部 / 経済学科・経営法学科 〒702-8501 岩手県花巻市下根子450-3 TEL 0198-23-6221 FAX 0198-23-5818 http://www.termnet.co.jp/fujidai

出会い
日本大学生訪韓研修団
参加にあたって
市民セミナー
イギリス滞在記
小学生と交流
富士大スポーツ
高校生が熱闘
地区父母懇談会
村田愛子
ファッションショー
家庭教育講演会
ワールドカップ公認
キャンプ地正式決定
北上みちのく芸能まつり
花巻まつり
紫陵祭を終えて
OBからの一言



出会い

人との出会いの大切さを実感した学生生活

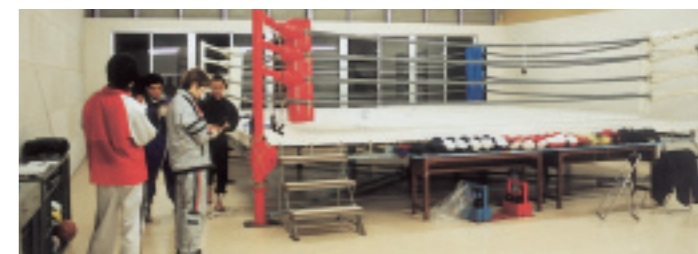
原田真児君(4年 ボクシング部主将 八戸工大二高出身)



彼の大変な苦労と努力、そして多くの人々とのかけがえのない出会いがあったようです。
入学時、ボクシング部は同好会として発足したばかりで、試合に出場したくても練習はおろか何一つ道具もない、人数も少なくスパarringもできない状態でした。
しかし、スポーツ振興を掲げる富士大学、そしてボクシング王国岩手ということもあり、徐々に各方面 高校の監督・地元花巻の指導者)のご好意で、練習場を借用しながら活動を続けてきました。特に花巻ボクシング協会には、すべての面において支えていただき、とても感謝しているよう

です。
今年度、ボクシング同好会はボクシング部への昇格が承認され、部員も15名となり、新たなスタートを切りました。
彼はこう言っています。「私たちのこれまでの活動は無駄ではなく、自信を持つことができた」。さらに「ボクシング部として何よりも嬉しかったのは、早々にリングを設置していただいた事です」。
そのリングは9月末にスポーツセンター2階に完成しました。
リングに関しては、岩手県アマチュアボクシング連盟、水沢市、水沢工業高校ボクシング部のご協力をいただき、また設置にあたっては、北上

市のオーテック株式会社の全面的なご協力を得て、実現することができました。その他、岩手県高校体育連盟からグロブの寄付を受けるなど、たくさんの方々のご支援をいただいています。
「学業のみならず、このような学生の活動に対し、大きな理解を示してくださる理事長、学長のもとで、私たちは学生生活を過ごしていることを忘れてはならないと思います。そして、人との出会いの大切さを痛烈に思い知らされた大学4年間の経験は、これからの私の人生にとって大きな財産になると思います」。
「私は富士大学の学生であることを誇りに、来春、胸を張って社会に出て行きます」。
そう言った彼の顔は、新たな自分を見つけ、自信に満ち溢れていました。
(広報室 小田桐)



日本大 学生 訪韓 研修 団 参加 に あ た っ て

経済学科 3年 小笠原 健 (牧野ゼミ)

応募理由

日本大 学生 訪韓 研修 団 と いう 観 光 と は 違 っ た 形 で の 外 国 訪 問 旅 行 は、 っ そ う っ 体 験 できる 物 の で は な く、 っ こ う っ た 行 事 に 参 加 する こと っ それ 自 体 に 意 義 が あり と 感 じ た から だ。 表 面 的 な 印 象 し か 残 ら ない 観 光 旅 行 と は 対 照 的 に、 研 修 団 に 応 募 する から に は、 っ それ 乃 り の 基 礎 知 識 (歴 史、 風 習、 伝 統、 経 済 や 社 会 制 度) を も っ て、 韓 国 の 人 々 に 主 体 的 に 深 く 関 わ る こと が 求 め ら れ ます。 っ それ に よ っ て、 彼 ら の 行 動 を 相 対 的 に 捉 え る 洞 察 力 を 培 い、 彼 我 の あ い だ の 「 心 の 溝 」 を 少 し で も 埋 め る の が 自 分 た ち の 世 代 の 役 割 だ から だ。 っ こ う っ た 観 点 から、「 21 世 紀 に 向 け て の 世 界 的 視 野 に 立 っ た 新 し い 日 韓 の 友 好 親 善 協 力 を 構 築 する 」 と いう 研 修 団 の 趣 旨 に 興 味 を 抱 き ま し た。 現 実 から 一 足 飛 び に 新 し い 時 代 に な か な か 飛 び 込 め ませ ん が、 隣 国 同 士 互 い に 意 識 して 学 習 できる っ こ の 機 会 を 利 用 して、 韓 国 の 人 々 の 價 値 観 と 韓 国 社 会 の 潮 流 の 方 向 性 を 虚 心 に 学 び たい と 思 っ ます。

日韓関係の 現在と将来

日韓基本条約締結以降、幾多の曲折を経ながらも、日韓関係は基本的に進展していると思われます。とくに経済関係において、日韓はお互いにもっとも重要なパートナーになっています。また両国の間における人的交流も増え続けています。消し去ることのできない過去の「清算」は難しいとしても、あらゆる領域における交流の積み重ねこそが清算を可能にする現実的な道であると思われます。 今後の日韓関係に関しては、東アジアにおける冷戦構造の崩壊の兆しがようやく鮮明になってきたという歴史の流れの中で、またポスト・ナショナルな時代に踏みこもうとしている中で、韓国の人々の心の奥底にあるわだかまりに、知力と道徳力をもって真剣に対処していくことが日本に求められていると思います。

朝鮮半島への関心

冷戦の象徴であった東アジアにおける分断国家の行方に関心があります。ヨーロッパにおけるドイツの事例と比較し



て、朝鮮半島では、それがどのように推移していくのか、また今後日本が北朝鮮と国交再開の条約を締結するとすれば、日韓条約との整合性の問題が浮上すると思われる。 他にも、経済学部で学生として見れば、韓国は1960年代から急速な近代化を達成しましたが、他方、全般的な社会開発部門の遅れが指摘されています。環境破壊、地域間の不均衡、貧富の格差、過度の外資依存などに対して、現在、具体的にどう対処しているかに関心があります。また朝鮮民主主義人民共和国と韓国経済の関連などに、特別な関心を持っています。

訪韓経験後の課題

訪韓経験は、現在の私の生半可な知識に飽き足りず、韓国のことを本格的に学習することになると思います。こうした訪韓経験に立脚した「異文化理解」の深まりを、周囲の人々に正確に伝えることが自分の課題になると自覚しています。ひいては、韓国を通して「異文化理解」の深まりを他のアジア諸国にも広げていきたいと考えています。他面では、訪韓経験が私の日本近代史研究の深化に跳ね返ってくるものと思います。世界の中の日本、アジアの中の日本、という視野で、今後、日韓友好親善協力に関わってきたいと考えています。

日本大学生訪韓研修団とは
財団法人 日韓文化交流基金 (理事長 熊谷直博)が、政府において策定された「日韓学術文化交流事業」の委託を外務省より受け、1989年(平成元年)より実施。
毎年、10月中旬に全国から約20名の学生を10日間韓国に派遣している。岩手県からは初めての参加である。

イギリス 滞在記

Vol.2



松岡 勝実 教授

ケンブリッジの街を散策してみよう。りんご、プラム、くり、トチの実などの木々が目につく。野生のリリスも多い。トンボを見かけるようになった。舗道の落ち葉も増えてきて、気づいたらもう秋である。イギリスの自然は、こちらの文化に相応して落ち着いてゆったりとしている。

近隣の村に行くともっとイギリス的である。小川のせせらぎ、絵本からでてきたような美しくかわいらしい家並み、最近日本で人気の「ガーデニング」、見知らぬ人に「ハロー」と声をかけてくれる鷹揚で温厚な人々。

しかしながらこちらにしばらく滞在してみると、気になる点も出てくる。まずごみの問題。こちらではごみの分別収集がほとんど行われていない。

である。しかし考えてみると、この国では市電がなく一般のタクシーもLPガスを使用せず、ましてや電気自動車の開発も立ち遅れている。代替エネルギーによる交通手段の発達が見られよう。

凶悪な犯罪は絶えない。連続殺人、誘拐殺人、強奪、強姦などが頻りに発生し、捜査協力を呼びかけるテレビ番組は、ゴールデン・タイムのしかも長寿番組である。ある統計によればロンドンでの傷害事件は、ニューヨークより発生率が高い。警察官の増員、犯罪防止の施策と実行は政

治家たちの最優先課題のひとつである。もっとも以上のことがらは、背景も含めて詳しい分析が必要である。日本との単純な比較も避けなければならぬ。要は日本であれイギリスであれ、社会は常に問題を抱えているということである。

ケンブリッジ大学のある有名な法学者は、「法律も現実社会も変えられないものではなく変えてゆくものだ」と述べている。より理想的な社会は与えられるものではなく、そこにいる人々のたゆまぬ努力の結晶なのだ。



富士大学教授・ケンブリッジ大学研究員 松岡 勝実

国際法研究所のホームページ <http://www.law.cam.ac.uk/rcil/home.htm>



緊張感のあった教室は、いろいろな質問に笑顔で答えてくれるバンカインさんの明るさで、打ち解けた雰囲気となりました。 「日本に来て、小学生のみなさんと話せたり、遊んだ

りすることができて、本当に良かったです。これからも交流していきたいですね」とコメント。 最後に、たくさんの手作りプレゼントを手渡され、楽しい交流会が終了しました。

FUJI UNIV. SPORTS CLUB

富士大スポーツ

女子バスケ5人で1部昇格!



今から伝統創るぞ

女子バスケットボール部は、10月29日(日)、福島市で行われた東北学生バスケットリーグ1・2部入れ替え戦で、見事、福島大学(東北リーグ1部5位)を下し、1部昇格を果たしました。

創部2年目での快挙に、高橋茂樹監督は「選手5人でここまでよく頑張った。本当にこの勝利はうれしい。」と選手をたたえました。

今年度、「1部昇格」を目標に、練習試合、高校との



合同練習など数多く実践経験を積んできました。

そして、臨んだ大会。ケガなどのアクシデントにも見舞われましたが、北奥羽2部優勝、東北リーグ2部優勝と勝ち進み、入れ替え戦でも富士大ペースで試合が展開、

接戦をものにした。 チームを引っ張ってきた湯沢明香キャプテン(3年・花輪高)は「目標だった1部昇格」を達成できて、本当にうれしいです。また、この結果に満足することなく、上を目指します。」と気持ちは次の目標に向かっていました。



女子バスケットボール部メンバー
4 湯沢 明香(3年・花輪高)
5 下佐 裕美(1年・三沢商業高)
6 藤田 加奈子(1年・大館商業高)
7 神 実希(1年・弘前聖愛高)
8 中村 友子(1年・三沢商業高)

北奥羽2部トーナメント大会
1回戦 114 21 東北女子大学
準決勝 81 49 弘前大学
決勝 106 50 盛岡大学
東北リーグ2部優勝決定戦
決定戦 83 52 宮城教育大学
1・2部入れ替え戦
79 76 福島大学

高校生が熱闘!!

第23回IAT杯・富士大学旗争奪 全国高等学校柔道選手権大会岩手大会

今年で23回目になる本学と岩手朝日テレビ(IAT)主催の、全国高等学校柔道選手権大会 岩手県大会が、11月24日(金)岩手県武道館にて開催されました。

10月末に行われた新入大会を勝ち上がった高校生が一堂に会し、全国大会出場の切符を賭け、熱い試合が繰り広げられました。

試合に先駆け、大会会長である本学の小山田学長は「日頃、心身ともに鍛えてきたものを十二分に発揮し、美しい技、すばらしい戦いを見せてほしい」と激励しました。



地区 父母懇談会

学生の父母 総勢361名の参加

学生の父母で構成される後援会主催の「父母懇談会」が、去る9月5日、6日、9日、12日、13日、14日の6日間にわたり、宮城県、青森県、岩手県、関東、北関東、福島県の6地区で、父母総数361名の出席を得て開催されました。

懇談会は、学生の父母と大学の教職員との直接的な話し合いのできる場として、毎年開催され、今年度で19回目を数えます。大学からは、学長をはじめ副理事長他多数の教職員も出席し、学生生活のことや、学業成績に関するについて、大学からの説明、また、父母と教員との間で熱心な個人面談が行われました。

今回は、特に、宮城県地区で懇談会を設定したり、宮城、青森、岩手において、OBからの体験談なども加えられ、好評を得ました。次回に向け、父母からのご意見も取り入れ、ますます充実を図ろうと考えています。

(後援会事務局 高橋吉恵)



市民セミナー開催

富士大学附属地域経済文化研究所では、毎年、花巻市・北上市において、各教育委員会とともに市民セミナーを開催してきました。今年度、花巻市では第17回目の開催(石鳥谷町・大迫町・東和町の各教育委員会、花巻地区社会教育協議会の後援)となり、100名を超す受講者を迎え9月13日~10月18日まで6回にわたって各講師が講演を行いました。北上市では第15回

目の開催となり、約40名の受講者を迎え、11月16日~12月7日まで4回の講演が行われました。昨年度、本研究所は「高度な教育研究機能を生涯学習に活用し永年にわたり、時代の変化に対応した市民セミナーを開催してきた」との理由から、花巻市教育委員会から社会教育部門において表彰をされました。ここに紙面の一部をお借りして、報告させていただきます。

(文責:小岩)



小学生と交流

留学生ゲエン・チャー・バンカインさん 小学校の特別授業に出席

11月1日(水)、北上市立成田小学校の特別授業に、ベトナムからの留学生ゲエン・チャー・バンカインさん(経済学科2年)が招かれ、交流会が行われました。

今回の特別授業は、小学校5・6年生14名が対象で、皆この日のために2ヶ月前から準備をすすめ、バンカインさんとの交流を心待ちにしていたとのこと。

バンカインさんは、ベトナムの民族衣装で登場。自己紹介を兼ねて、故郷ベトナムの様子や、日本に来



て思ったことなど、流暢な日本語で話しました。特に「日本のりんごなど寒い所でできる果物はとても珍しい。ぜひ、りんごの収穫してみたい」とのコメントには、小学生達も驚いた様子でした。